

クリーンセンター ニュース

第10号

■発行者■

秦野市伊勢原市環境衛生組合

施設計画課（秦野市曾屋 4624 番地）

Tel 0463-82-2500

Fax 0463-83-5933

E-mail: info@hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp

平成22年4月30日発行

クリーンセンターの工事請負契約を締結しました。

本組合が進めているクリーンセンター建設事業については、これまで、環境アセスメントの手続きと並行して、施設建設を請負う事業者の選定手続きを進めてまいりました。

このたび、事業者の選定に総合評価方式を採用した入札を行った結果、日立造船株式会社（日立造船）が落札し、その後、同社と契約を締結することとなりましたので、その経過に関してご報告いたします。

● 総合評価方式の採用

廃棄物処理施設の建設工事について、従来の入札方法では指名競争入札と随意契約がその多くを占めていました。平成17年に国が制定した「公共工事の品質確保の促進に関する法律」では、その基本理念として、発注者に価格と品質が総合的に優れた内容の契約を行うよう義務付けており、この理念を具体化するための仕組みである総合評価方式について規定しています。このような契約に関する国の動向を踏まえ、事業者選定方法について、組合議員、学識経験者など14名からなるクリーンセンター施設検討委員会（施設検討委員会）で検討いただいた結果、このたびの入札においては総合評価方式を採用することとしました。

● 入札・契約の経緯

入札に際しては、施設検討委員会において、事前に評価項目と評価基準、配点などの検討を行ったうえで、入札公告（平成20年11月）、資格審査（5社が申請）、技術提案書提出（3社が提出）、技術審査（施設検討委員会の委員による技術ヒアリング2回を含む）を経て、総合評価（平成21年9月）を行い、落札候補者を決定しました。その後、本組合議会（平成22年2月26日開催）において、契約に係る議決がされ、日立造船と本契約を締結しました。契約額は94億3950万円です。

○ 平成22年度の予定

今年度はし尿処理施設の解体を行いながら、施設の建築確認申請を経て本体工事に着手します。また、環境アセスメント手続きでは、大気汚染、騒音、振動等について、工事の影響を調査（事後調査）します。

クリーンセンター建設工事の様子（平成22年4月）



現在、し尿処理施設の解体を行っています。

総合評価結果

社名	非価格要素点 (60点満点)	価格点 (40点満点)	総合評価点
日立造船	43.7	37.8	81.5
JFE	41.9	39.4	81.3
タクマ	40.7	40.0	80.7

※ 非価格要素点と価格点の合計（総合評価点）が最も高い者を落札候補者とします。

クリーンセンター建設工事の入札に係る一部新聞報道等について

クリーンセンター建設工事の入札に関し、一部の新聞等により落札者選定手続に疑惑があるかのような報道があり、秦野市並びに伊勢原市の市民の皆様にご心配をおかけしていることにつきまして、その経緯や本組合の見解などをご説明させていただきます。

◎ 新聞報道の経緯

今回の入札は、より安全で品質の高い施設を適正な価格で建設するため、予め入札公告で明示したとおり、総合評価方式（入札参加業者から提出された技術提案と入札価格から総合的に評価して落札者を決定する方式）を採用して行いました。ところが、落札者決定後に次点のJFEエンジニアリング株式会社（JFE）から苦情申立書が提出（平成21年10月）されました。その主な内容は「技術評価の項目の1つである「安定稼動の実績」の評価において、落札者が提示した蒸気発生量の数値は、常識では実現不可能な数値である」というものでした。

一部の新聞報道機関は、JFEが本組合に提出した苦情申立書などを引用しながら、9回にわたり記事を掲載しました。新聞報道が特に強調している点は、次の2点であり、これに対する本組合の見解とともに、以下に示します。

報道等の内容	本組合の見解
日立造船が提出した「安定稼動の実績」を評価するための蒸気発生量の値は、常識では実現不可能であり、人為的な操作をした可能性がある。	左記の内容に対し日立造船に見解と資料の提出を求め、さらに、提出された見解等について、財団法人日本環境衛生センター ^(※) に確認を依頼したところ、日立造船が提出したデータが恣意的なものではなく、通常の施設運営において達成可能な数値であるとの見解を得ています。 ^(※) (財)日本環境衛生センター：環境省・厚生労働省認可法人で廃棄物の総合調査機関。本組合クリーンセンター施設検討委員会の技術支援業務の委託先。
第三者によるデータの検証を行わない組合の対応は公共工事の契約手続きとして著しく不適正である。	外部の有識者を含むクリーンセンター施設検討委員会が実施した応札者の評価過程において、日立造船提出の数値が不自然であるというような指摘はありませんでした。 また、事後においても、上記に記載したとおり、信頼と実績のある機関にデータの確認を依頼するなど、適正な入札手続きのもとで、数値が人為的な操作により作り出されたものではないことを確認しています。

建設工事の業者選定に係る技術評価は、施設検討委員会が関与したうえで、公平、公正に行われたものであり、新聞報道にあるような不適正といわれる事実は一切ありません。

なお、苦情申立などの経過や文書につきましては、整理をしたうえで本組合のホームページ上に公開しましたのでご覧ください。

このニュースは、クリーンセンター建設用地周辺の自治会の皆さんにお届けするとともに秦野市内及び伊勢原市内の公共施設でも配布用として置いています。

ご意見、ご質問等は下記へお寄せください。

■秦野市伊勢原市環境衛生組合 施設計画課 電話：82-2500 FAX：83-5933

ホームページ：<http://www.hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp>

E-mail：info@hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp

